

METAL WEATHER Application Note

耐候性試験における可視光線の影響 ② ～ 試験片温度 ～

資料番号:MW0004 / 公開日:2021.01.12

<概要>

屋外環境において、黒色の試験体と白色や透明の試験体の温度に差異が存在する。この温度差は太陽光に含まれる可視光線や赤外線に由来すると考えられるため、耐候性試験機においてもそれら波長域は重要となる。

そこで今回は、可視光線の有無による試験片温度の差異、及び試験体色による影響について紹介する。

<試験>

試験体：ポリカーボネート樹脂板（透明/緑/茶/黒）

試験機：メタルウェザー KF-1フィルター（295～780nm）

メタルウェザー KF-2フィルター（295～430nm）

140mw/cm² ブラックパネル温度83℃

<結果>

設置環境	KF-1 紫外線 +可視光線	KF-2 紫外線のみ	太陽光
(雾囲気温度)	(45℃)	(65℃)	(33℃)
透明	-	-	-
緑色	+1.9℃	+0.1℃	+0.2℃
茶色	+3.7℃	+0.9℃	+4.4℃
黒色	+3.8℃	+1.7℃	+4.8℃

測定結果に関するお問い合わせは、dawin@wintes.co.jpまで



ダイプラ・ウィンテス株式会社
DAIPLA WINTES CO.,LTD.